

県教頭会だより

No.1

平成30年6月18日

福岡県公立小学校教頭会

(編集：事務局)

ご挨拶

福岡県公立小学校教頭会

会長 白水 隆暢

新年度がスタートし、早くも2ヶ月が過ぎました。副校長・教頭先生におかれましては、ご多用の中にも、校長の補佐として校務運営にますますご活躍のことと存じます。昨年度に引き続き、本年度会長を務めます筑紫野市立二日市小学校の白水隆暢です。本年度も県小学校教頭会の発展に向け、全力で取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、福岡県小学校教頭会では、福岡市・北九州市の権限委譲に伴い、昨年度、県教頭会の組織・運営の見直しを図りました。当初は、小学校長会に倣い、福岡市・北九州市と県域6地区との分離独立も検討していましたが、事務局会及び役員会における数度の協議の末、改めて県内の副校長・教頭が一体となることの大切さ、つながりを深めることの重要性に気付き、協調・共同の視点から組織・運営を見直しました。今年度は、その1年目となります。この1年間は、試行の1年として、研修・予算を含めた事業計画、規約等の改正を検討し、来年度以降の県教頭会活動の基盤づくりを進めるとともに、県教頭会本来の目的である会員の資質を高めるための研修を推進し、教育の向上進展に寄与できるよう取組を進めて参りたいと思います。具体的には、

- (1) 県域6地区と2政令市による共同的な組織運営に関する事
- (2) 研究大会の開催に関する事
- (3) 全公教、九公教、教育関係機関・諸団体との連携に関する事
- (4) 副校長・教頭の地位向上に関する事
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項に関する事

の5点です。

特に、(2) 研究大会の開催に関する事につきましては、全公教第11期全国統一主題『豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育』の2年次として、本年12月26日に「北九州市ウェルとばた」にて、福岡県公立小学校教頭会研究大会を開催いたします。これまでの研究の成果と新たな課題を踏まえた研究の「継続性」、集団で知恵を出し合う「協働性」、副校長・教頭としていかに関わったかという「関与性」に焦点を当てた実践的な研究が深められるよう、各地区の副校長・教頭先生方の積極的な参加をお願いいたします。併せて、8月1日(水)～3日(金)の全国大会(札幌大会)及び8月28日(火)・29日(水)の九州大会(長崎大会)への参加につきましても、ご協力のほどお願いいたします。

福岡県下738名の副校長・教頭先生方のお力をお借りして、福岡県教頭会の運営に微力ながら努力して参りたいと存じます。ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。準備を進めてまいります。

福岡県小学校長会をはじめ、各郡市教頭会、関係機関の御支援御協力を宜しくお願い致します。

◎ 全国統一研究主題及び研究主題について

第11期 2年次「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」

キーワード：〈自立・協働・創造〉

全国共通研究課題(6課題)

第1課題 「教育課程に関する課題」

第4課題 「組織・運営に関する課題」

第2課題 「子どもの発達に関する課題」

第5課題 「教職員の専門性に関する課題」

第3課題 「教育環境整備に関する課題」

第6課題 「副校長・教頭の職務内容や職務機能に関する課題」

平成30年度 九州大会(会場：長崎) 提言地区

地区名	共通研究課題(分科会)
北九州市	第1課題(1B)「教育課程に関する課題」

平成30年度 全国公立学校教頭会 第60回 定期総会

福岡市立大原小学校

教頭 大曲 敬子

日 時

平成30年6月1日（金）

場 所 都市センターホテル

○ 平成29年度の活動経過報告、平成30年度の活動方針・計画についての報告

- 1 活動経過報告
- 2 平成29年度 決算報告
- 3 平成29年度会計監査報告
- 4 平成30年度 活動方針
- 5 平成30年度 予算案
※ 第60回全国公立学校教頭会研究大会札幌大会予算書
- 6 平成30年度 役員・専門部員・会計監査選出（一括提案）

上記のことについての報告が行われました。本年度は全国公立学校教頭会創立60周年を迎えます。私たち福岡県公立小学校教頭会一同も、全公教の一員として、全国的な教育の動向を鑑みながら、「福岡県はひとつ」を合い言葉に、研鑽し合っていかなければなりません。

○ 第11期2年次の研究推進について（研究部）

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」という全国統一研究主題のもと2年次の取組となる。「研究の手引き」を基本として、ブロック大会・県大会等に代表参加，グループ協議を取り入れた分科会をさらに深化・定着させる必要がある。全国研究大会（埼玉大会），ブロック研究大会などの成果と課題をまとめ、第11期3年次への継承・発展を図る研究を推進する。

○ 平成30年度版「全国公立学校教頭会の調査」の実施（調査部）

「全国公立学校教頭会の調査」の集計，分析，編集「平成30年度版 全国公立学校教頭会の調査」の発行を行う。本年度より総務部と調査部が統合されての活動となる。

○ 平成30年度全国公立学校教頭会役員について

会長は、所沢市立所沢小学校 教頭 杉江 淳一 氏が選出された。

○ 研 修

テーマ：『持続可能な開発のための教育（ESD）に求められること』

～新学習指導要領におけるESDの位置付け～

講 師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 濱野 清 氏

- ESDとは
- ESDの現行学習指導要領上の位置付け
- ESDの次期学習指導要領上の位置付け学習指導要領の変遷
- 言語活動・アクティブラーニングとESD
- ESDに期待される学び
- ESD実践事例

ESDとは、**E**ducation for **S**ustainable **D**evelopment であり、
(教育) (持続可能な) (開発)

「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会づくり」のための教育である。「環境保全」「国際理解」「福祉」等に関する課題は、国の喫緊の課題であり、社会に主体的に関わろうとする児童・生徒を育成するために、私たち教頭もESDの基本的な考え方にに基づき、教育課程の編成を行っていく必要があると考えます。

現在、福岡県では大牟田市の全小中学校が「ユネスコスクール」指定を受け、各郡市においても実践校としての取組を推進しています。情報交換を通して、各校の実践に学び、研修を深めていきたいと思っております。